

平成23年度 大学コンソーシアムやまがた総会 議事録

日 時	平成23年7月8日（金）11:00～11:50	
場 所	ゆうキャンパス・ステーション	
出席者	羽陽学園短期大学	: 研 攻一 学長
	鶴岡工業高等専門学校	: 加藤 靖 校長
	東北芸術工科大学	: 根岸 吉太郎 副会長・学長
	東北公益文科大学	: 黒田 昌裕 副会長・学長
	東北文教大学	: 内田 英子 監事・学長
	東北文教大学	: 大川 健嗣 幹事会副委員長・教授
	放送大学山形学習センター	: 柴田 洋雄 所長
	山形県立産業技術短期大学校	: 横山 正明 校長
	山形県立農業大学校	: 百瀬 清昭 校長
	山形県立保健医療大学	: 金内 良一 幹事会副委員長・理事
	山形県立米沢女子短期大学	: 遠藤 恵子 副会長・学長
	山形県立米沢女子短期大学	: 草苺 信博 幹事会副委員長・事務局長
	山形工科短期大学校	: 勝見 英一朗 校長
	山形大学	: 結城 章夫 会長・学長 小山 清人 幹事会委員長・副学長 下平 裕之 企画会議委員長・准教授 山崎 彰 事業評価委員会委員長・教授
オブザーバー	山形大学	: 山崎 眞二 教授 横井 博 教授 佐竹 正行 渉外部長

1 開会

議事に先立ち、議長から、前回会議（平成22年3月31日）以降に委員となった方の紹介があった。

2 議事

[報告事項]

1 平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）実績報告書

事務局から資料1に基づいて報告があった。

2 監査報告

内田監事から資料2に基づいて報告があった。

3 「高等教育山形宣言」プロジェクト

4 「やまがた夜話」

5 合同企業説明会

6 進学相談会

企画会議主催のこれらのことについて、下平企画会議委員長から資料3～資料6に基づき報告があった。

なお、進学相談会の参加人数について質問があり、事務局が「平均すれば概ね4, 5名程度」と回答した。

7 天童高校での活動

8 合同大学等進学説明会

オブザーバーの横井企画会議委員からそれぞれ資料7、資料7-2に基づいて報告があった。

9 TUY「どよまん」での広報

事務局から資料8に基づいて報告があった。

10 やまがた里の暮らし推進機構との委託契約書

オブザーバーの横井企画会議委員からそれぞれ資料9に基づいて報告があった。

11 山形県との委託契約書

12 山形県東西自由通路での広報

13 ゆうキャンパスSD職員研修会（フレッシュマン編）

事務局からそれぞれ資料10～資料12に基づいて報告があった。

14 中国・黒龍江省の大学との交流

オブザーバーの山崎山形大学教授から概ね次のような報告があった。

- ・ 大学コンソーシアムやまがたとハルビンの複数の大学との間で「交流協定」を締結する方向で進んでいる。
- ・ ハルビン師範大学がハルビンの他の大学と共に大学コンソーシアムやまがたとの間で「交流協定書」を締結することに同意している。現在、ハルビン工程大学からの回答を待っているところ。

関連して概ね次のような質疑応答が行われた。

- Q. 大変結構なことでありがたく感じている。福島県では原発事故の影響で多くの留学生が帰国したと聞いているが、他大学の状況はどうか？
- A. 山形大学では事故直後約80%の留学生が帰国したが、現在ではそのほとんどが戻ってきている。
- A. 鶴岡高専では留学生10名中、5名がマレーシアからの留学生であるが、マレーシアは原発事故に対して大変敏感になっている。福島の高専では留学生が関西及び九州の高専へ転校したようだ。
- A. 東北文教大では1名が休学手続きしているが帰国した学生はほとんどいなかった。

[協議事項]

第1号議案 平成22年度 大学コンソーシアムやまがた収支決算書(案)について

議長から本件について提案があり、事務局から資料13に基づき説明があった後、諮られた結果、了承された。

第2号議案 平成23年度 大学コンソーシアムやまがた事業計画書(修正案)について

議長から本件について提案があり、下平企画会議委員長から資料14に基づき説明があった後、諮られた結果、了承された。

第3号議案 平成23年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書(案)について

議長から本件について提案があり、事務局から資料15に基づき説明があった後、諮られた結果、了承された。

[その他]

議長から「ゆうキャンパス・ステーション」の活動状況や来年度以降の活動の可否、正会員・賛助会員の拡大等について話題提供があり、懇談が行われた。

主な発言は次の通り。

- ・ ゆうステは講演会等様々な事業で成果を上げてきているのではないかな。
- ・ 2年間で活動を終えるのはもったいない。
- ・ 企業等を賛助会員として例えば会費5万円程度で募ってみてはどうか。
- ・ 企業側のメリットに考慮すべき。
- ・ 将来的にはコンソーシアムで男女共同参画事業を行っても良い。
- ・ 山形は外国人が少ない。学生に刺激を与えるためにもコンソーシアムでの国際交流を考え

て欲しい。

- ・ 放送大学の教育資源を是非有効活用して欲しい。
- ・ 事業は成果が出るまでフォローする必要がある。 など

なお、次回は日程を調整の上、開催することとなった。


[配付資料]

資料 No. なし 大学コンソーシアムやまがた役員名簿（裏面出席者名簿）
大学コンソーシアムやまがた会則

- 資料 1 平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）実績報告書
- 資料 2 監査報告書
- 資料 3 「高等教育山形宣言」プロジェクトチラシ
- 資料 4 「やまがた夜話」チラシ
- 資料 5 「合同企業説明会」チラシ
- 資料 6 進学相談会チラシ
- 資料 7 天童高校での活動について
- 資料 8 TUY「どよまん DOYOMAN」での広報について
- 資料 9 やまがた里の暮らし推進機構との委託契約書（写）
- 資料 10 山形県との委託契約書（写）
- 資料 11 山形駅東西自由通路での広報について
- 資料 12 ゆうキャンパスSD職員研修会（フレッシュマン編）実施要項
- 資料 13 平成22年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書（案）
- 資料 14 平成23年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書（修正案）
- 資料 15 平成23年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案）

議事録署名人


山形大学長

結城章夫 

山形県立産業技術短期大学校長

横山正明  印

山形大学人文学部准教授

下平裕之  印